



熊谷雄一市長（中央）にプロでの活躍を誓った八学大の松山晋也（左から2人目）、八学光星高の佐藤航太（右から2人目）ら＝八戸市庁

中日・松山（八学大）とソフトB佐藤（光星高）

プロでの活躍誓う

八戸市長訪問

先月20日のプロ野球ドラフト会議で指名を受けた八学大投手の松山晋也（22）

中日育成1位Ⅱと八学光星高内野手の佐藤航太（18）

ソフトバンク同11位Ⅱが17日、八戸市庁に熊谷雄一市長を訪ね、次のステージでの活躍を誓った。

松山は本年度の北東北大学リーグで主に抑え投手として活躍。佐藤は今夏の全国高校選手権ではランニング本塁打を放つなど、攻守

でチームに貢献した。同日は、松山、佐藤が八学大の正村公弘監督、八学光星高の仲井宗基監督と共に市庁を訪れ、熊谷市長と懇談した。2選手は現在、プロ入りに備えて筋力強化に取り組んでいるといい、松山は「早く支配下登録選手になれるよう一から練習する」、佐藤は「体づくりから見直している。プロでは、八戸の皆さんにいい報告できるような活躍をした

い」と抱負を語った。

（上村公悟）